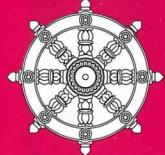


全日本仏教会

ZENBUTSU

No.

626



仏暦 2560年1月
[2017年]

CONTENTS

ご縁をかたちに、絆を行動に	真宗大谷派 同朋社会推進ネットワーク	不二門 至淨	… 2
新年のご挨拶	全日本佛教会第32期会長 小峰 一允		
	全日本佛教会第32期理事長 石上 智康		… 4
第16回理事会・真宗大谷派教誨師会委員会主催學習会報告		… 5	
全葬連事前相談員資格講習会講演			
東京都佛教連合会結成100周年記念式典・祝賀会出席		… 6	
第33回佛教主義学校連盟弁論大会出席			
第32期第2回支援検討会議		… 7	
年賀交換		… 8	
録事・無料法律相談・無料税務相談・訂正とお詫び		… 18	
寺院が知っておきたい法律知識		… 19	
花まつりポスターのご案内		… 20	

公益財団法人

全日本仏教会
WFB(世界佛教徒連盟)日本センター



智積院 金堂

全葬連事前相談員資格講習会講演

十一月七日、愛知県産業労働センターにて、全日本葬祭業協同組合連合会（以下・全葬連）主催の葬儀事前相談員資格認定講習会が開催され、本会から中村甲広報文化部長が講演した。

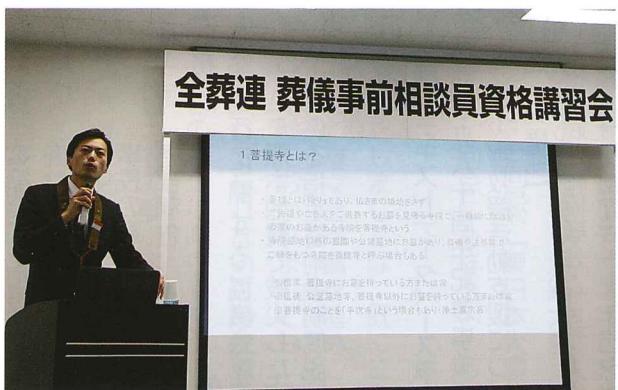
二〇一一年に経済産業省の「ライフエンディング・ステージ」の創出に向けた方策を検討する研究会」が取りまとめたものによると、六十歳以上の約八割が生前に自分自身の葬儀について肯定的に受け止め、五十歳以上の約七割が葬儀の費用や内容について自らが生前から関わりたいと希望している調査結果が出ている。一方で、生前準備にあたっては、具体的な行動に表れない人が多く「実際に生前準備に着手するための仕組みや仕掛けづくりが必要である」ことも報告されている。このような報告を踏まえ、葬儀専門事業社に安心して葬式の事前相談をしてもらう取組みとして、二〇一二年に「全葬連葬儀事前相談員資格制度」が設立され、これまでに千人以上が認定されている。

本資格は、受講資格が葬祭実務経験十年以上であることや、認定後3年で更新が必要であるなど、時代に沿った葬儀を提案し、事前相談員の質を高める趣旨のもと、受講資格を高め、更新型の資格制度をとっている。本会は二〇一五年から本講習会で講演してお

り、「分かっているようで分からぬい仏教基礎講座」を担当している。

当日は、事前相談者から受講者が相談時に聞かれる事項を念頭に、菩提寺や戒名（法名）等の言葉の意味や役割、葬儀の必要性、本会加盟宗派の紹介や日本仏教の略史を述べた。また、通仏教的な仏教観も紹介し、事前相談への対応のみならず、葬儀に携わる方にも仏教を理解してもらう趣旨のもと講演した。

来年三月には東京で開催され、本会職員が引き続き講演する予定。



講義する中村広報文化部長

東京都仏教連合会 結成一〇〇周年記念式典・祝賀会出席

十一月二十一日、大本山増上寺において、東京都仏教連合会結成一〇〇周年式典・祝賀会が開催され、本会から中西副会長をはじめ事務局員が出席した。

午後二時より、東京都仏教連合会会長である、大本山増上寺ハ十八世法主八木季生台下御導師のもと大殿本堂において勤修された。

法要後、東京都仏教連合会新見昌道理事長より挨拶、本会からは中西玄禮副会長より祝辞が述べられた。

また、東京都知事、高尾山貫首、天台座主、世田谷学園理事長・校長連名の祝電が披露された。

午後三時より、池上彰氏による記念講演が行われ、「提言・期待される仏教」として話された。若者の宗教観や生活習慣に根付いている日本の宗教観について、また、アメリカの次期大統領候補にトランプ氏が選ばれたことによって世界が寛容でなくなっていくことへの危惧など、さまざまな事柄に言及された。

午後五時より、光損殿にて祝賀会が開催された。八木季生台下より開会の挨拶があり、(公社)全日本佛教

婦人連盟末廣久美理事長より祝辞が述べられた。乾杯に先立ち、浅草仏教会より本会に平成二十八年熊本地震への義援金が寄託され、久喜事務総長より挨拶を述べた。その後、浄土宗友田達祐執事長による乾杯の発声があり、ステージでは、曹洞宗三重県青年会による太鼓演奏が披露された。新美昌道理事長より閉会の辞が述べられ、盛会の中、祝賀会はお開きとなつた。



記念講演する池上彰氏